

朝日大学機関リポジリのご案内



機関リポジリってなに？

機関リポジリとは、その機関で生産された教育研究成果などを電子媒体で収集・蓄積をして、インターネットを通じて国内外に無償公開・発信をするデジタルアーカイブシステムです。 *リポジリ(Repository)とは、英語で保存庫・収納庫という意味があります。

本学は、朝日大学機関リポジリの運用を
2013年7月1日より開始しました

朝日大学成果集の
電子書庫という
イメージだよ！



なぜ朝日大学機関リポジリ？

- たくさんの人の目に触れるため研究の認識度が高まる
- 自著論文の引用率の向上が期待できる
- 研究成果の可視性の向上
- 無料で論文が入手できる
- 知的生産物を公開することで社会・地域への貢献
- 教育研究機関としてのブランド・知名度の向上 など



教育研究成果を登録するには？

登録できる人

- 本学に在籍している、または過去に在籍していた教職員・大学院生
- その他、学長が認めた方

登録の対象

- 学位論文
- 学協誌掲載論文
- 学内刊行物
- その他

詳しくは、朝日大学
機関リポジリ運用指針
をご覧ください！



ただし

- 法令上、社会通念上または情報セキュリティ上問題が生じないもの
 - 公開の許諾を得た著作物であること
- などの要件をみたしていることが条件となります。



登録手続き

- 学位論文 ⇒ 書類手続きは所属する学部の学事課へ
- 学内刊行物 ⇒ 登録に向けて図書館が発行元と協議をしていきます
- 学協誌掲載論文など ⇒ 登録希望者が所定の申請用紙と論文原稿を図書館に提出する

例：学協誌掲載論文登録の流れ



世界に向けて教育研究成果を公開

*1学協会・出版社の公開に係るポリシーについて

学術雑誌に掲載された論文は、著作権の一部が学協会や出版者に譲渡されているケースがあります。その場合、リポジトリで登録・公開するには、学協会・出版者のポリシーに従わなければいけません。リポジトリなどの二次利用の可否の他、どの原稿なら登録・公開を許可するなど学協会・出版者により様々です。これらの確認は図書館で行いますが、ご自身でも下記のサイトで確認をすることができます。

なお、リポジトリへの登録によって著作権が本学に移ることはありません。

国内の学協会：学協会著作権ポリシーデータベース (SCPJ)
<http://scpj.tulips.tsukuba.ac.jp/>

海外の出版社：SHERPA/RoMEO (Publisher copyright policies & self-archiving)
<http://www.sherpa.ac.uk/romeo/>



登録申請のお願い

朝日大学機関リポジトリのコンテンツ充実を目指しています。研究者の皆様の学協誌の掲載論文、学会発表資料など教育研究成果の登録申請をお願いします。



出版社・学会によって登録可能な原稿(出版社版、査読後原稿など)が異なります。著者最終稿*の登録を認めている出版社や学会が多いですので、著者最終稿は保存しておいてください！

* 著者最終稿とは : 査読を経てアクセプトされた原稿(雑誌レイアウト前)を指します。



問い合わせ先

図書館 内線1751 または asahi-ir@alice.asahi-u.ac.jp

登録対象となるのか？手続きについてなど、お問い合わせやご相談はお気軽にご連絡ください。

